

第13回 奈良まほろばソムリエ検定試験

問題用紙

奈良まほろばソムリエ級

(午後2時開始 制限時間90分)

注意事項

1. マークシートへの記入にあたっては硬度HBまたは、Bの黒鉛筆を使用してください。(ボールペンは使用不可)
2. 誤ってマークしたときは、跡の残らないようにプラスチック消しゴムで消してください。
3. マークシートの解答欄は、各問題につき1つのみ解答してください。
4. マークシートは直接コンピュータで読み取りますので、絶対に折り曲げたりしないでください。
5. 記述問題の解答用紙への記入にあたっては、解答用紙の表面に記載されている注意事項をよく読んでください。下書き用紙で提出された場合は採点いたしません。
6. 記述式問題の解答用紙にも受験番号・氏名の記入欄がありますので必ず記入してください。
7. 点数は100点をもって満点とし、問Ⅰが50点(25問で各2点)、問Ⅱが30点(2問で各15点)、問Ⅲが20点(1問で20点)の配点となります。

(平成31年1月13日)

奈良商工会議所

- (10) 長谷寺の本尊十一面観音菩薩は、徳道上人が聖武天皇の勅を奉じ、霊木を用いて造立したと伝えるが、この霊木が流れ出たと伝えられるのはどこか。
- ア. 大和国吉野 イ. 近江国高島 ウ. 和泉国日根 エ. 摂津国難波津
- (11) 秦楽寺で『三教指帰』を執筆していた弘法大師が、執筆中にやかましく鳴いていたある動物を叱ると、以後鳴かなくなったという。その動物はどれか。
- ア. カエル イ. イヌ ウ. カラス エ. ニワトリ
- (12) 旧奈良少年刑務所は、明治の五大監獄の一つとして知られるが、これを設計したのは誰か。
- ア. 片山東熊 イ. 松室重光 ウ. 山下啓次郎 エ. 野口孫市
- (13) 平成30年(2018)よりパリで開かれている「ジャポニスム2018」において、奈良県とギメ東洋美術館主催の「古都奈良の祈り」で展示される興福寺の仏像はどれか。
- ア. 木造維摩居士像 イ. 木造天燈鬼像 ウ. 銅造仏頭 エ. 木造金剛力士像
- (14) 「當麻曼荼羅」の中央に大きく描かれた阿弥陀浄土図の下に描かれている図はどれか。
- ア. 十九観想図 イ. 九品往生図 ウ. 四大地獄図 エ. 十三仏図
- (15) 今の明日香村の島庄で詠んだとされる万葉歌「朝日照る 島の御門に おぼぼしく 人音もせねばまうら悲しも」(巻2-189)は、誰をしのんだ歌か。
- ア. 草壁皇子 イ. 天武天皇 ウ. 大津皇子 エ. 蘇我馬子
- (16) 松尾芭蕉が詠んだ「春もやや けしきととのふ 月と梅」の句碑は、次の梅林のうちどこに建てられているか。
- ア. 賀名生梅林 イ. 広橋梅林 ウ. 追分梅林 エ. 月ヶ瀬梅林
- (17) 昭和の初めに東大寺の高僧を頼って奈良に滞留し、その後『月山』で芥川賞を受賞した作家は誰か。
- ア. 志賀直哉 イ. 森 敦 ウ. 森 鷗外 エ. 五味康祐
- (18) 赤膚焼は、文政年間(1818～1831)、五条山に三窯あったと伝えられるが、その三窯に含まれていない窯はどれか。
- ア. 東の窯 イ. 中の窯 ウ. 西の窯 エ. 上の窯

(19) 「三輪素麺」とともに桜井市の地域ブランドに認定され、「戎」の名が冠される食品はどれか。

- ア. 蕎麦 イ. 春雨 ウ. 蒟蒻 エ. 豆腐

(20) 奈良県農業総合センターで育成され、平成23年(2011)に品種登録された「古都華」は次のどの果実の名称か。

- ア. 柿 イ. 莓 ウ. 西瓜 エ. 桃

(21) 2月11日に桜井市の江包と大西の両集落で開催される「お綱祭り」は雌雄の大綱が合体することで有名である。その所作の前に行われるユニークな行事はどれか。

- ア. 竹馬競争 イ. 大声競争 ウ. 泥相撲 エ. 人間将棋

(22) 奈良市東部の田原地区に伝わり、浪花節の源流と言われる全国で唯一の芸能はどれか。

- ア. 題目立 イ. 祭文語り ウ. 六斎念仏 エ. 催馬楽

(23) 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の構成資産である玉置神社は次のどの村にあるか。

- ア. 十津川村 イ. 野迫川村 ウ. 下北山村 エ. 天川村

(24) 重要伝統的建造物群保存地区である今井町において、最も西にある重要文化財はどれか。

- ア. 上田家住宅 イ. 今西家住宅 ウ. 河合家住宅 エ. 高木家住宅

(25) 平成30年(2018)3月に国土交通省が平城宮跡朱雀門近くに開設した展示施設の通称はどれか。

- ア. 天平つどい館 イ. 復原事業情報館 ウ. 平城宮いざない館 エ. 天平みつき館

Ⅱ. 次の中からテーマを2つ選び、それぞれについての解説文を別紙の解答欄に200字以内で書きなさい。尚、選択した番号とテーマを解答欄左上の所定欄に記入すること。

(各15点)

- (1) 二上山について
- (2) 唐古・鍵遺跡について
- (3) 奈良県内の乾漆仏について
- (4) 奈良盆地の寺内町について
- (5) おん祭の芸能について

Ⅲ. 次の中から1つ選び、その場所を含む1日の見学コースを想定したのち、同伴者を楽しませ、奈良の文化遺産や自然遺産に興味をもたせるには、どのように案内すればよいかを考え、自分なりの見学計画を400字以内で書きなさい。尚、選択した番号と場所を解答欄左上の所定欄に記入すること。また、行程ならびに本文の記述にあたっては、下記の条件を参照すること。

(20点)

- (1) 中将姫ゆかりの地をめぐる(奈良県内)
- (2) 富雄川(生駒市・奈良市・大和郡山市)
- (3) 高畑(奈良市)
- (4) 横大路(葛城市・大和高田市・橿原市・桜井市)
- (5) 箸墓古墳(桜井市)

【記述の条件】

- ・ 主な見学地を訪れる順番にそって行程を設定し、枠内に記入しなさい。
なお、行程は [○○○～○○○～○○○…] という書き方で列記すること。
- ・ 見学地の数は自由とします。
- ・ 見学の集合・解散場所(鉄道の駅や路線バス乗り場など)を想定する必要がありますが、行程の欄や本文の中にあえて入れる必要はありません。
- ・ 見学地館の移動手段は徒歩を基本としますが、路線バス・鉄道・自動車などをりようしても構いません。

